

町田市一般廃棄物資源化基本計画中間答申についての意見書

町田市政を考える会・草の根
小林 美知

「ごみになるものを作らない・燃やさない・埋め立てない」を原則として、徹底したごみの減量、資源化を図りつつ持続可能で環境負荷の少ない都市を目指すという基本理念に賛同します。

そして、基本計画を作る前提として「ごみ」という言葉を使わず、できるだけ「資源」という言葉に置き換えてほしいと思いました。

たとえば、地域のごみステーションは「資源化ステーション」、ごみ減量推進委員は「資源化推進委員」、今後取り組む施設建設についてもごみの処理の施設から「資源化をする施設」に・・・。

市民の発想を変えるためにも「ごみ」から「資源」に、まず言葉から変えてほしいのです。

ごみステーションがない所は、資源化ステーションを創ろうという動きになるかもしれません。すでにごみステーションがあるところは資源化ステーションとなれば今までと違った様々な取り組みができる可能性が広がるのではないのでしょうか。地域がまとまれば、大型生ごみ処理機の設置 リサイクルひろばくるくる交換市と、人が育てば今までと違ったステーションができるのでは・・・と思います。またこうした動きが始まれば、高齢化が進む中で、地域の助け合いや新しい地域の再生にもつながると考えました。

同時に、人を育てる仕組みが必要だとも強く思います。行政が一人ぼっちにならないために、市民が独りよがりにならないために、どうすればいいか・・・。

トコロジストという考え方、「その地域の〇〇の専門家」という考え方です。（日本野鳥の会神奈川支部の故浜口哲一氏が提唱）学者、市民運動家といった専門家ではなく「地域の〇〇についてはよく知っている」といった専門家です。そういった住民を育てていくことが大切だと思います。地域の専門家を見つけ、さらに「公共とはどういうことなのか」をきちんと学べる仕組みが必要です。

ひとつの市民団体の意見や都合で動いたり、ある一つのやり方が一番正しいといった形を押し付けたりすると、間違った方向に流されたり、運動（資源化に取り組む市民を増やしていく）が広がらなくなってしまいます。

個人登録のような形できちんと学ぶ仕組み、市役所の職員がそうした市民を育てる意識、市民は地域に責任を持ち行動する。環境部の回りにそんな市民が

増えることが大切だと思います

以上のことを考えながら、具体的に中間答申をみていきますと
たとえば、

*全体目標は、「2020年度までに、資源化できず、ごみとして燃やすものを重量で40パーセント削減します」

*基本方針では

2 使い終わったプラスチック製品(容器包装プラスチック・製品プラスチック)の減量・資源化を推進します

- ・ 使い終わったプラスチック製品を多く出さないようにします
- ・ 使い終わった容器包装プラスチックは、安全性に配慮しながら容器包装リサイクル法に則って資源化します
- ・ その他の使い終わったプラスチック製品も資源化ルートを拡充します

3 市民、事業者、行政の協働を進めます

- ・ リサイクル広場の増設等、焼却量を減らし資源化を進める取り組みを協働で進めます

4 次世代型の資源化を進める施設を整備し、資源化のための円滑な運営を進めます

- ・ 肥料として資源化できない生ごみや資源化できないプラスチック製品を安全に処理し、温暖化防止のためエネルギー回収を進めます

*市民・事業者・行政の協働の推進についての案では

(仮称) ごみの広場は 資源のひろば (たのしいかんじの・・・)

などなど・・・考えてみてください。

「燃やすものを重量で40パーセント削減するということは、これは実は60パーセントとか70パーセントのCO₂の減らすことに繋がるかもしれない。」

「市民が手間隙かけて生ごみや使い終わったプラスチック製品を分別し資源化することが、資源化のみならず、地球温暖化ガスの削減効果と繋がっていく。このことを市民自ら自覚し、大きな輪をつくるためにも、できるだけごみという言葉に資源という言葉に置き換えてほしい」と思っています。

*生ごみの資源化について

・家庭から出る生ごみの 100 パーセント資源化を推進するためには、市民は家庭用生ごみ処理容器、家庭用生ごみ処理機、大型の生ごみ処理機を使った取り組み、行政はバイオガスの取り組みといった考えで中間答申を読むことができます。

・市民がどれだけ手間暇をかけて取り組めるのか、(市民の中には当然事業者も含まれます) も重要です。

・市民のやる気を引き出すためにも「モデル地域をつくる」ことも考えてほしいと思います。

・また、くじけない、一生懸命がんばっている市民をはげまし応援することも大事です。税金を有効に使うためにも挫折しない工夫が・・・

*協働の事業に物々交換の施設・・・ドイツなどにある「リサイクル・ホフ」の方法も大胆に採り入れてほしいです。